

製品安全データシート

1. 化学品及び会社情報

化学品の名称	HuMedia Basal Media
製品名(製品コード)	HuMedia-KB2(KK-2350S)、HuMedia-KB2特注GC別添(KK-2370S) HuMedia-EB2(KE-2350S)、HuMedia-EB2特注GA別添(KE-2370S) HuMedia-SB2特注GA別添(KS-2370S)
SDS整理番号	HMBM_J-5
会社名	倉敷紡績株式会社
住所	〒572-0823 大阪府寝屋川市下木田町14-5 クラボウ寝屋川テクノセンター3F
担当部門	環境メカトロニクス事業部 ライフサイエンス部
電話番号	072-820-3079
FAX番号	072-820-3095
緊急時連絡電話番号	ライフサイエンス部 バイオ営業課 072-820-3079
推奨用途及び使用上の制限	正常ヒト細胞培養用液体培地、研究専用

2. 危険有害性の要約

GHS分類
区分に該当しない/分類できない

GHSラベル要素
絵表示なし
注意喚起語なし

その他の危険有害性
情報なし

3. 組成及び成分情報

化学物質・混合物の区別
混合物

成分名	濃度又は濃度範囲 (wt.%)*	CAS番号	化審法番号
培地成分(アミノ酸、ビタミン、糖類、有機及び無機添加物、塩類等を含む)	非公開	特定できず	-
水	非公開	7732-18-5	-

*これらの値は、製品規格値ではありません。

危険有害成分
毒物及び劇物取締法、安衛法「表示、通知すべき有害物」、化管法に該当する危険有害成分なし

4. 応急措置

吸入した場合	空気の新鮮な場所に移し、呼吸しやすい姿勢で休息させること。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
皮膚(又は髪)に付着した場合	皮膚に付着した場合: 多量の水/適切な薬剤で洗うこと。 皮膚刺激が生じた場合、医師の診察・手当を受けること。
眼に入った場合	水で数分間注意深く洗うこと。次にコンタクトレンズを着用していて容易に外せる場合は外すこと。その後も洗浄を続けること。 眼の刺激が続く場合、医師の診察・手当を受けること。
飲み込んだ場合	口をすすぐこと。 気分が悪いときは医師に連絡すること。
急性症状及び遅延性症状の最も重要な徴候症状	徴候症状及び影響に関する具体的な情報なし。
医師に対する特別な注意事項	医師に対する特別な注意事項に関する情報なし。

5. 火災時の措置

消火剤

適切な消火剤	周辺設備に適した消火剤を使用する。
使ってはならない消火剤	データなし。
特有の危険有害性	データなし。
消火を行う者への勧告	
特有の消火方法	関係者以外は安全な場所に退去させる。 消火作業は、可能な限り風上から行う。
消火活動を行う者の特別な保護具及び予防措置	消火作業従事者は全面型陽圧の自給式呼吸保護具を着用する。

6. 漏出時の措置

人体に対する注意事項、保護具および緊急時措置

	関係者以外は近づけない。 回収が終わるまで十分な換気を行う。 適切な保護具を着用する。
環境に対する注意事項 封じ込め及び浄化方法及び機材	漏れ出した物質の下水、排水溝、低地への流出を防止する。 不活性の物質(乾燥砂、土など)に吸収させて、容器に回収する。 多量に流出した場合、盛土で困ってのち処理する。

7. 取扱い及び保管上の注意

取扱い

技術的対策	(取扱者のばく露防止) ミスト/蒸気/スプレーの吸入を避けること。 (注意事項) 皮膚に触れないようにする。 眼に入らないようにする。
安全取扱注意事項	屋外又は換気の良い場所でのみ使用すること。 指定された個人用保護具を使用すること。
接触回避データなし 衛生対策	眼、皮膚、衣類につけないこと。 この製品を使用するときに、飲食又は喫煙をしないこと。 取扱い後はよく手を洗う。

保管

安全な保管条件	換気の良い場所で保管すること。 容器を密閉しておくこと。 涼しいところに置き、日光から遮断すること。 上限保存温度 : 8°C 下限保存温度 : 4°C (避けるべき保管条件) 直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。 安全な容器包装材料データなし
---------	---

8. ばく露防止及び保護措置

管理指標	管理濃度、濃度基準値データなし 許容濃度	日本産衛学会関連許容濃度データなし ACGIH 許容濃度データなし
ばく露防止	設備対策	適切な換気のある場所で取扱う。 洗眼設備を設ける。 手洗い/洗顔設備を設ける。
保護具	呼吸用保護具 手の保護具 眼の保護具 皮膚及び身体の保護具	換気が不十分な場合、呼吸用保護具を着用すること。 保護手袋を着用する。推奨材質:非浸透性もしくは耐化学品ゴム。 側面シールド付安全メガネまたは化学品用ゴーグルを着用する。 保護衣を着用する。

9. 物理的及び化学的性質

当該化学品および成分の物理化学的性質

物理的状态	形状	液体
	色	無色～赤色透明
臭い		微臭
pH		7.3～7.9
融点・凝固点		情報なし
沸点、初留点及び沸点範囲		情報なし
可燃性(ガス、液体及び固体)		情報なし
爆発下限界及び爆発上限界/可燃限界		情報なし
引火点		情報なし
自然発火点		情報なし
分解温度		情報なし
動粘性率		情報なし
溶解度(対 水および溶媒)		情報なし
n-オクタノール/水分配係数		情報なし
蒸気圧		情報なし
密度及び/又は相対密度		情報なし
相対ガス密度(空気=1)		情報なし
粒子特性		適用外

10. 安定性及び反応性

反応性	反応性データなし。
化学的安定性	通常の保管条件/取扱い条件において安定である。
危険有害反応可能性	危険有害反応可能性データなし。
避けるべき条件	避けるべき条件データなし。
混触危険物質	直射日光、高温、着火源(裸火、火花など)を避けること。
危険有害な分解生成物	危険有害な分解生成物データなし。

11. 有害性情報

毒性学的影響に関する情報

急性毒性	経口	情報なし
	経皮	情報なし
	吸入(気体)	情報なし
	吸入(蒸気)	情報なし
	吸入(ミスト)	情報なし
皮膚腐食性/皮膚刺激性		情報なし
眼に対する重篤な損傷性/眼刺激性		情報なし
感作性	呼吸器感作性	情報なし
	皮膚感作性	情報なし
生殖細胞変異原性		情報なし
発がん性		情報なし
生殖毒性		情報なし
特定標的臓器毒性(単回ばく露)		情報なし
特定標的臓器毒性(反復ばく露)		情報なし
誤えん有害性		情報なし
その他		情報なし

12. 環境影響情報

生態毒性

水生環境有害性(急性)	情報なし	
水生環境有害性(長期間)	情報なし	
生態毒性	魚類	情報なし
	甲殻類	情報なし
	藻類	情報なし
残留性/分解性	情報なし	
生体蓄積性	情報なし	
土壌中の移動性	情報なし	
オゾン層への有害性	情報なし	

13. 廃棄上の注意

化学品、汚染容器及び包装の安全で、かつ、環境上望ましい廃棄、又はリサイクルに関する情報

廃棄物の処理方法

内容物/容器を地方/国の規則に従って廃棄すること。
承認された廃棄物集積場で処理する。

下水、地中、水中への廃棄を行ってはならない。

汚染容器及び包装

内容物を使い切ってから、容器を廃棄すること。

14. 輸送上の注意

国連番号、国連分類

国連番号またはID番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない

IMDG Code (国際海上危険物規程)

国連番号またはID番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない

IATA (航空危険物規則書)

国連番号またはID番号	該当しない
正式輸送名	該当しない
分類または区分	該当しない
容器等級	該当しない

環境有害性 海洋汚染物質 (該当/非該当) 該当しない

特別の安全対策

特別の安全対策データなし

MARPOL 73/78付属書II及びIBCコードによるばら積み輸送される液体物質

本品はバルク輸送されない。

国内規制がある場合の規制情報

船舶安全法に該当しない。

航空法に該当しない。

15. 適用法令

当該製品に特有の安全、健康及び環境に関する規則/法令

化審法	非該当
労働安全衛生法	非該当
化学物質排出把握管理促進法 (PRTR法)	非該当
毒物および劇物取締法	非該当
消防法	非該当

16. その他の情報

参考文献、URL

- 1) Globally Harmonized System of classification and labeling of chemicals, UN
- 2) Recommendations on the TRANSPORT OF DANGEROUS GOODS 22nd edit., 2021 UN
- 3) IMDG Code, 2020 Edition (Incorporating Amendment 40-20)
- 4) IATA 航空危険物規則書 第64版 (2023年)
- 5) 2020 EMERGENCY RESPONSE GUIDEBOOK (US DOT)
- 6) 2023 TLVs and BEIs. (ACGIH)
- 7) JIS Z 7252 (2019年)
- 8) JIS Z 7253 (2019年)
- 9) 2022 許容濃度等の勧告 (日本産業衛生学会)
- 10) 厚生労働省 基安化発0111第1号(令和4年1月11日)
- 11) Supplier's data/information
- 12) GESTIS-Stoffdatenbank
- 13) Pub Chem (OPEN CHEMISTRY DATABASE)

改訂履歴

2012年8月22日作成
2017年9月19日改訂
2018年4月27日改訂
2024年3月22日改訂
2025年10月14日改訂

記載内容の問合せ先

倉敷紡績株式会社 環境メカトロニクス事業部 ライフサイエンス部

本記載内容は、現時点で入手できる資料、情報データに基づいて作成しており、新しい知見によって改訂される事があります。また注意事項は通常の取扱いを対象としたものであって、特殊な取扱いの場合には十分な安全対策を実施の上でご利用ください。ここに記載したGHS分類区分の算定根拠は現時点における日本公表データ (NITE 令和4年度(2022)年度)です。